



IDF PRESS RELEASE

IDFプレスリリース

2019年11月28日、ブリュッセル発

ヒツジ、ヤギ、および他の牛以外の乳に関する IDF シンポジウムの講演者を 発表

Speakers announced for IDF symposium on goat, sheep and other non-cow milks

国際酪農連盟（IDF）は、2020年5月4日～5日にベルギーのブリュッセルで開催する第8回 IDF ヒツジ、ヤギ、およびその他の牛以外の乳国際シンポジウムの講演者を発表しました。

講演では、ヒトの栄養、科学・技術、生乳生産と品質、および家畜の健康の分野で、牛以外の家畜由来の乳に関する最新の科学的進歩について紹介します。

「牛は世界の生乳供給量の多くを生産していますが、ヤギ、ヒツジ、およびその他の牛以外の乳も世界中に広く分布しています。」と IDF のキャロライン・エモンド事務総長は述べました。「それらの家畜は、経済、農村および都市周辺の生計維持、女性のエンパワーメント、食料安全保障を通じて、持続可能な生計に貢献しています。このシンポジウムは、現在の市場動向と政策に沿って、知識の新たなビジョンを提供します。」

招待講演者は、ケニア国際家畜研究所の Nicoline de Haan 博士、世界動物保健機関（OIE、国際獣疫事務局）の Anna-Maria Baka 氏、イスラエルのヒツジおよびヤギ酪農システムのコンサルタントである Haim Leibovich 博士、ニュージーランドの酪農ヤギ協同組合の Sophie Gallier 博士、UAE 大学の Mutamed Ayyash 教授、オランダのワージェニンゲン大学・研究の Thom Huppertz 教授、イスラエルのエルサレムヘブライ大学の Nurit Argov 助教らです。

シンポジウム、講演者および講演の詳細については、IDF Web サイト www.fil-idf.org/sheepandgoat2020 をご覧ください。

講演会のトピックスは次のとおりです:持続可能性(社会経済的および環境的な側面)、家畜の健康、乳房の健康と搾乳効率、生乳生産戦略、新しい乳製品と健康への影響、製造加工技術、農場から食卓までの品質と安全性。

IDF の科学委員会はまた、口頭およびポスター発表の要旨提出を 2019 年 12 月 20 日の締め切りまで募集しています。

本イベントは、生乳生産者、乳業者、業界団体、学界、および政府など、ヒツジ、ヤギ、およびその他の牛以外の酪農乳業セクターに関わる科学者やその他の専門家にとって興味深いものになるでしょう。

詳細および予約については、www.fil-idf.org/sheepandgoat2020 をご覧ください。

完

翻訳：J I D F 事務局

編者注：仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。